



理工学メディアセンターニュース

No.9 1999.10

10月の開館時間

カレンダーの見方

夏季長期貸出返却日
です。
遅れないようにして
ください。

通常開館(月～金:8:45～21:00 土:8:45～18:00)
閉館

1999年10月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

理工学関係のお役立ち WWW ページ紹介 その1

理工学メディアセンターのホームページ (<http://www.lib.st.keio.ac.jp>) には、理工学関係リンク (国内・海外) があります。そこからたどれるお役に立ちそうなページをこれから紹介していきます。

会議録を検索するサイト

SPIE Web Publications Abstracts (<http://www.spie.org/incite/>)

(論文単位の検索ができます。Abstracts まで見られます。1991-1999)

IEEE Books and Conference Proceedings (<http://services.ieee.org/title/bwshop.htm>)

(IEEE の会議録を検索することができます。CH・CB 番号を探することができます。)

テクニカルペーパー・レポートを検索するサイト

AIAA Meeting Papers Searchable Citation Database (<http://www2.aiaa.org/citations/mp-search.cfm>)

(Paper Title, Author Name, Paper Number から検索ができます。1992-1998)

NASA Technical Report Server (<http://techreports.larc.nasa.gov/cgi-bin/NTRS>)

(NASA のレポート No. から検索ができます。ものによっては Full Text もみられます。)

所蔵館の検索

文部省 学術情報センター (<http://webcat.nacsis.ac.jp>)

(600を超える大学図書館などの総合目録データベースが検索できます。)

！注意！ 検索した結果、直接、他大学の図書館に行かないでください。カウンターで紹介状を発行します。

書籍紹介

『丸善実験物理学講座』

全12巻

物理実験の基礎から最先端までを系統的にまとめた新シリーズ。多くの実験室で共通する基礎的手法から、専門性の高い実験方法までを、物理的な背景や原理に立ち入って解説。初心者にとってよき入門書であると同時に、熟達した研究者には実験手法の視野を広げ新しい発想のきっかけが得られるよう配慮されている。

(請求記号：420.75@K1@1-)

『岩波講座科学／技術と人間』

全11巻・別巻1

21世紀を目前に控え、一人ひとりがより良くより豊かに生きるために、科学技術はどう貢献できるのか、人間との新たな関係をいかに築くのかを探る。科学／技術の驚異的な発展により、従来の価値観・倫理観が根底から見直されようとしている現在、科学や技術を包括的に、“科学／技術”としてとらえ、自然科学と人文・社会学の両面から、科学／技術の進展と人間の新たな関係を論じる。

(請求記号：408@O1@1-)

~~~~~ **図書館を使いこなそう** ~~~~~

### オンラインで雑誌を読む

先月号の記事でも少し紹介しましたが今回は「オンライン・ジャーナル」を取り上げてみましょう。

当センターではここ数年でパソコン利用が欠かせないものとなっています。OPACや文献検索で皆さんもかなり利用されていますね。その一方でまだまだあまり知られていないサービスもあって、オンラインジャーナルもその一つです。これは来館することなく希望の雑誌をインターネットで読むことができるという非常に便利なものです。

使い方を簡単に説明しましょう。理工学部内の端末からインターネットで当センターのホームページにアクセス。

「オンライン・ジャーナル」をクリック。上部に並んでいるアルファベットの中から誌名の頭文字をクリック。

読みたい雑誌名をクリック。雑誌によって異なりますが、多くは「Contents」という部分をクリックすると年・巻号を選ぶ画面になります。希望する巻号を選ぶとコンテンツが表示されるのでそこからお探しの論文を選んで下さい。フルテキストはPDFやhtml形式などで読むことが可能で、プリントアウトももちろんできます。

リストアップされている雑誌はほとんどFull Textで読むことが可能です(雑誌によって異なりますが多くは1997年位から)。今のところ利用できるのはほとんど洋雑誌ですが、当センターで受入れしていないOnline Onlyの雑誌中には含まれていますし、受入れ中止となったタイトルがオンラインで読める場合もあります。

また、直接出版社にアクセスするので当センターが書店を通して紙媒体で受入れるのに比べて数週間早く論文を手でくるというメリットもあります！当センターで製本中の場合も使えますね。

オンライン・ジャーナルはインターネットを利用しますので比較的つながりやすい午前中の利用がオススメです。利用できる雑誌は随時追加していますのでどんどん利用してください。また、使い方がわからない場合はカウンターにご相談ください。

~~~~~ **Ru** ~~~~~

発行 慶應義塾大学理工学メディアセンター
(<http://www.lib.st.keio.ac.jp>)
info@lib.st.keio.ac.jp